



令和6年度ひたちなか市総合教育会議資料①

# 学校部活動の地域移行について

---

令和7年1月31日（金）  
ひたちなか市教育委員会

# 内容

- 1 国・県の動向等について
- 2 本市の現状
- 3 基本方針と取組概要

# 国・県の動向等について

## ○部活動地域移行の背景

### 急激な少子化

- ① 1部活動あたりの部員数の減少
- ② 1中学校あたりの部活動設置数の減少

### 教員の働き方

- ① 時間外勤務の増加
- ② 未経験の活動を担当

➤ 今後、学校単位での持続は**むずかしい**

# 国・県の動向等について

## ○国や県が示す部活動地域移行

### 地域移行の目的・方向性



#### 子供たちのスポーツ・文化芸術活動の機会を守る

- ・ニーズに応じた多種多様な体験
- ・生徒の個性・得意分野の尊重



#### 地域の子供を地域で育てていく

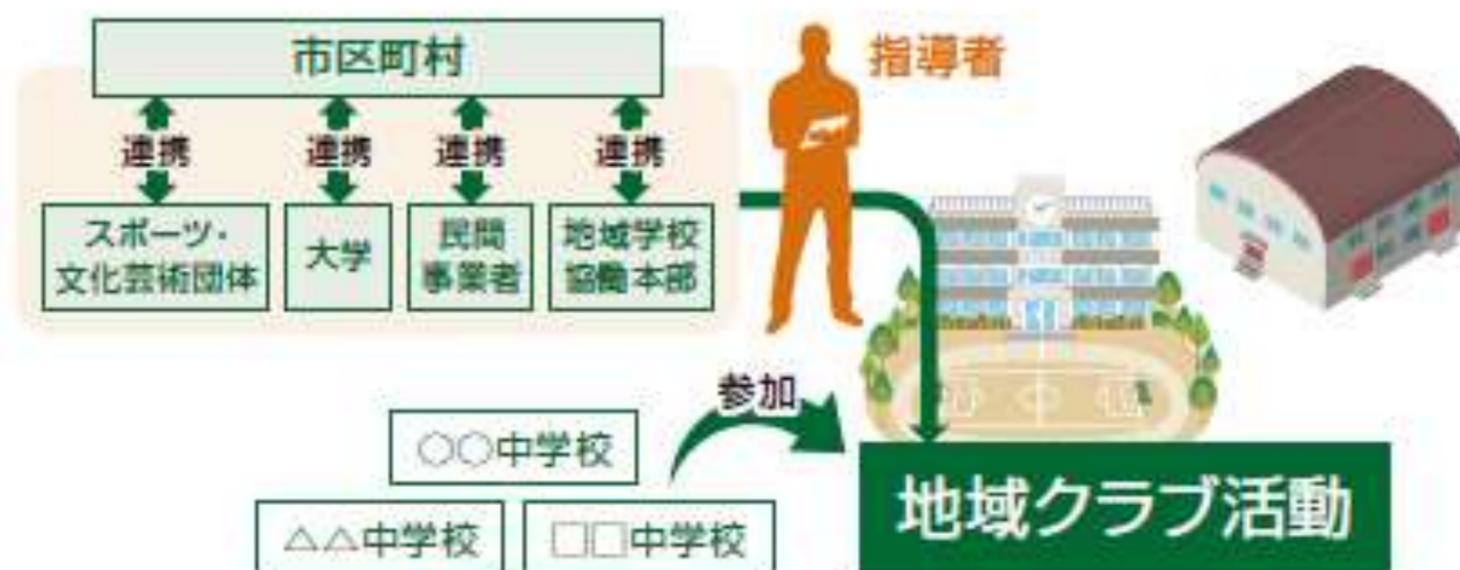
- ・学校・世代を越えた仲間との交流
- ・引退のない継続的な活動

# 国・県の動向等について

## ○国や県が示す部活動地域移行

### 地域移行とは

地域の多様な主体が運営・実施する地域クラブ活動によって、部活動を代替するものです。学校とも連携しながら、多様な活動を、可能な限り低廉な会費で実施します。



### 地域連携とは

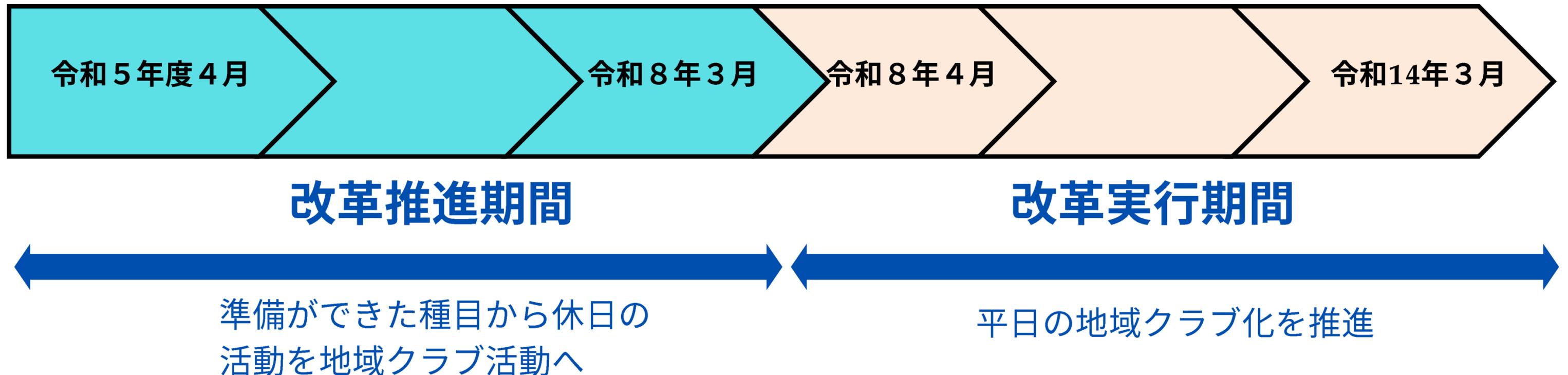
複数校でまとまって一つの部活動とする合同部活動の導入や、部活動指導員等の地域の人材を活用することにより、あくまで学校で運営・実施しつつも、生徒の活動機会を確保するものです。



# 国・県の動向等について

## ○国や県が示す部活動地域移行

- 令和5年度から令和7年度までの3年間を「改革推進期間」とする国の方針に則り、県でも各市町村の状況に応じて休日の地域クラブ活動の環境整備を着実に進める
  - ※令和8年度から令和13年度を「改革実行期間」として、平日の地域クラブ化も推進



# 本市の現状

## ○現状

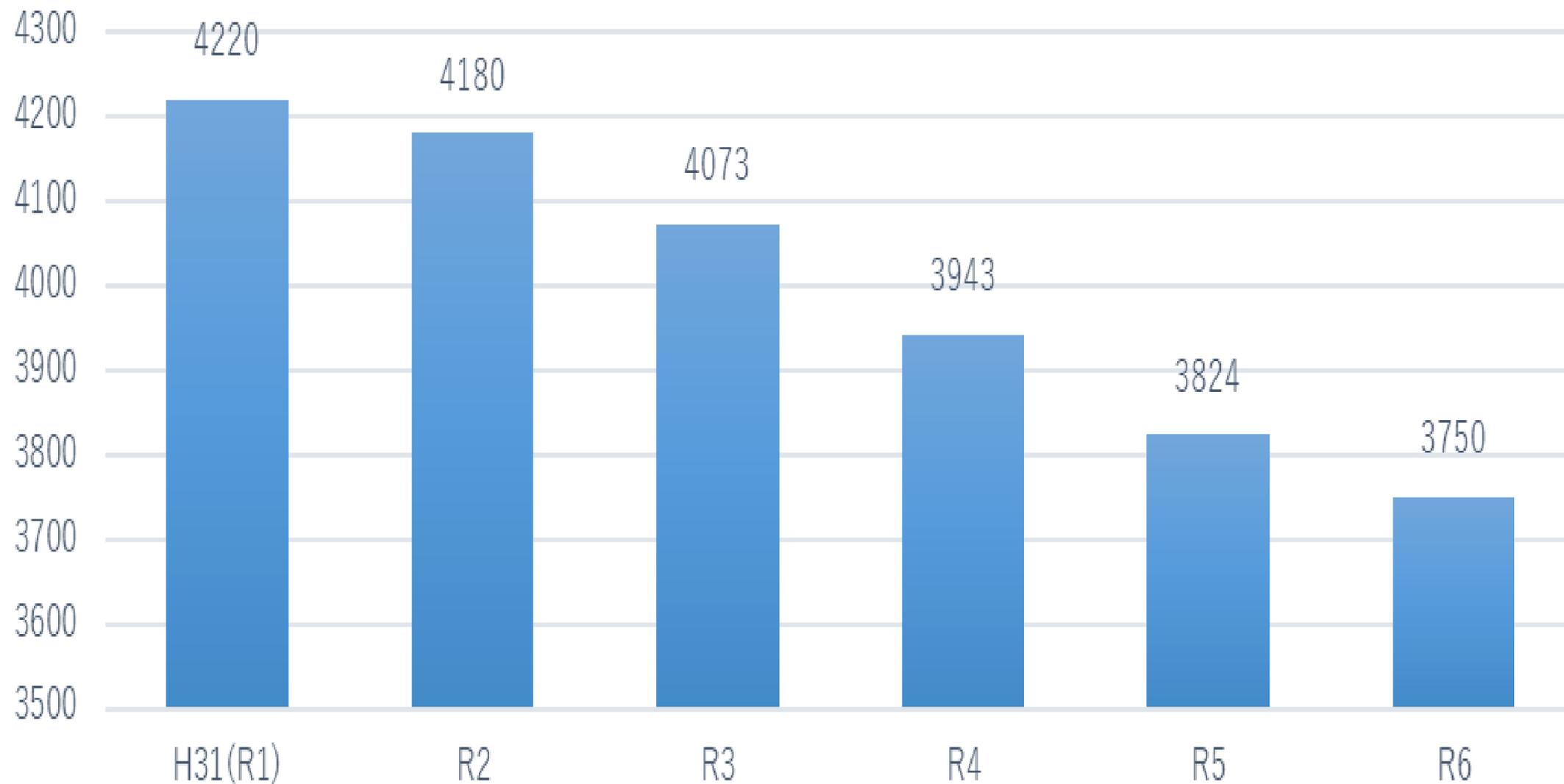
- **学校数**

小学校	17校
中学校	7校
義務教育学校	1校
- **総生徒数** 3,750人（中学校・義務教育学校後期課程）
- **部員数** 3,354人  
（運動部2,641人、文化部713人）
- **加入率** 約89.4%（前年度比 -2.2ポイント）

R6.5月現在

## ○中学校在籍生徒数の推移

生徒数推移



令和元年度は4,220名  
令和6年度は3,750名と

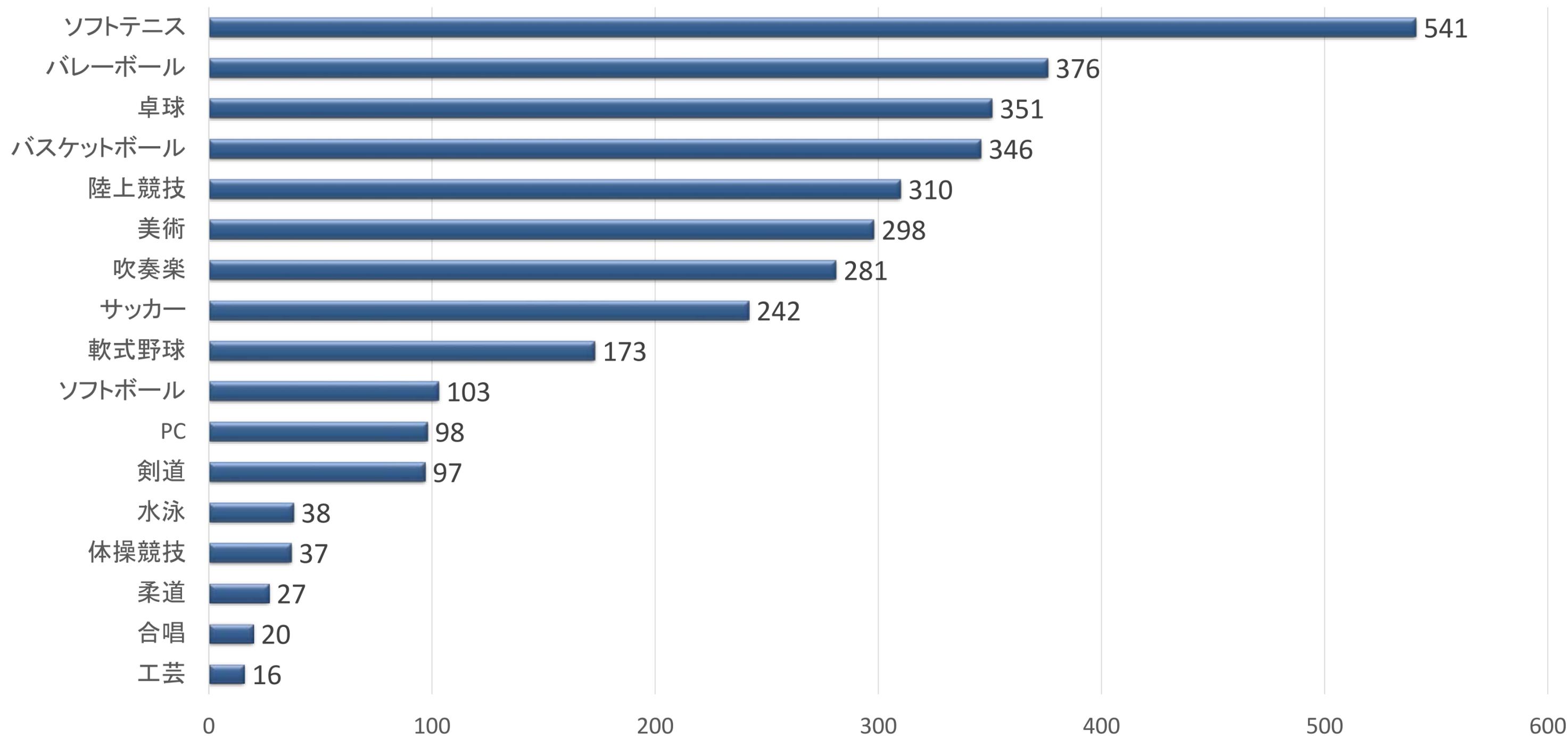
**約500名** 減少

R6. 5月現在

# 本市の現状

## ○令和6年度部活動種目と所属人数

(ひたちなか市教育委員会 令和6年5月)



# 本市の現状

## ○令和6年度部活動設置状況

(ひたちなか市教育委員会 令和6年5月)

種目 \ 学校	勝田一中	勝田二中	勝田三中	佐野中	大島中	田彦中	那珂湊中	美乃浜
軟式野球	○	○	○	○	○	○	○	○
サッカー	○	○	○	○	○	○	○	○
バスケットボール(男)	○	○	○	○	○		○	
バスケットボール(女)	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトボール	○	○	○	○	○	○	○	
卓球(男)	○	○	○	○	○	○	○	
卓球(女)	○	○	○	○	○	○		
ソフトテニス(男)	○	○	○	○	○	○	○	○
ソフトテニス(女)	○	○	○	○	○	○	○	○
陸上競技	○	○	○	○	○	○	○	
バレーボール(男)	○	○	○	○	○	○		
バレーボール(女)	○	○	○	○	○	○	○	○
柔道	○	○		○				
剣道	○	○		○		○	○	
水泳				○				
体操競技	○							
吹奏楽	○	○	○	○	○	○	○	○
合唱	○			○				
美術	○	○	○	○	○	○	○	○
工芸				○				
PC		○		○	○		○	

# 本市の現状

## ○部員減少による活動への影響

### ・合同チームによる大会参加

令和5年度	【総 体】 サッカー	大島中と美乃浜学園
	【新人戦】 ソフトボール	勝田二中と大島中
令和6年度	【総 体】 サッカー	大島中と美乃浜学園
	【新人戦】 サッカー	田彦中と美乃浜学園
	ソフトボール	勝田一中と田彦中
	ソフトボール	勝田二中と勝田三中と那珂湊中

### ・活動が廃止となった部活動

那珂湊中 男子バレーボール部（令和5年度総体終了後より）

### ・学校内で統合を予定している部活動

佐野中 美術部と工芸部（令和7年度より統合して活動）

### ・令和7年度より新入部員を募集しない部活動

勝田一中 柔道部  
勝田二中 ソフトボール部、剣道部  
佐野中 柔道部、水泳部

生徒たちのスポーツ・文化  
芸術活動の環境整備が急務

部活動の地域移行を推進

## ○地域の指導者を部活動に派遣

- ・部活動指導員（単独での活動及び大会等への引率が可能）  
中学校、義務教育学校へ各校1名を配置  
（運動部5名、文化部3名）
- ・部活動外部指導者（単独での活動及び大会等への引率は不可）  
小学校、中学校、義務教育学校へ27名を配置

# 本市の現状

## ○生徒が活動している少年団・クラブ・道場等

(ひたちなか市教育委員会 令和6年7月)

No.	競技	クラブ名	団体数	No.	競技	クラブ名	団体数
1	バスケットボール	ひたちなかアドバンス、ブラックカメリアクラブ、 HAKロボッツU15、ボンズ茨城、笠原ブルガゼル、 BCつくば、エッセンス	7	8	陸上	水戸AC、日立陸上クラブ	2
				9	柔道	芯成塾、池内道場、無心塾、舞鶴、E.N.A柔道スクール	5
2	卓球	常陸野クラブ、ビバハウス、国田TTC、 ひなクラブ	4	10	剣道	勝田若葉会、青藍館、若汐会	3
				11	体操競技	ひたちなか体操クラブ	1
3	テニス	渡邊ジュニア教室、東石川クラブ、ルネサンス エーステニスアカデミー、佐藤塾、湊クラブ	6	12	新体操	アプリコット新体操クラブ	1
				13	空手	中山道場	1
4	野球	茨城シニア、大洋ボーイズ、水戸青藍舎、 日立ボーイズ、友部リトルシニア	5	14	少林寺拳法	湊スポーツ少年団	1
5	サッカー	佐和WSFC、ロッサドル、みなとwaiwaiクラブ、 水戸HH、ポルターラ、ジュノー、malvaSC、 FCヴェレン大洗、フォーウィンズ、東小沢FCバンビーナ、 日立SC、アントラーズ、アントラーズノルテ	13	15	バドミントン	ひたちなか少年団、吉田BC、Eifer	3
6	バレーボール	日立Astemoリヴァーレ、V.ORTEX	2	16	水泳	アシストスポーツクラブ、ルネサンス水戸、 レッツスイム勝田、茨城スイミング	4
7	ソフトボール	茨城アストロプラネッツ	1	17	吹奏楽	ひたちなか市民吹奏楽団	1

# 基本方針と取組概要

## ○基本方針

### ステップ1

「休日」の学校部活動を  
地域クラブ活動へ



- 準備ができた種目から休日の活動を地域クラブ活動へ
- 令和7年度末までに休日の完全移行を目指す

### ステップ2

「平日」の学校部活動を  
地域クラブ活動へ

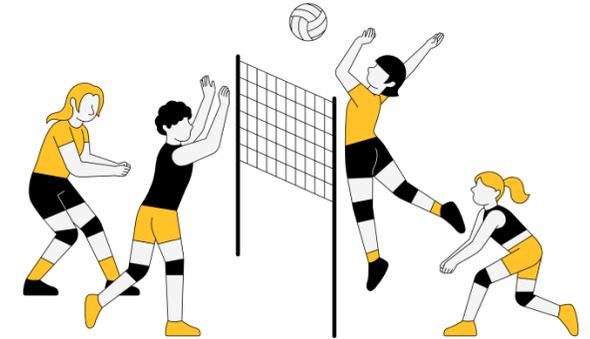
国の動向に合わせて  
今後検討



# 基本方針と取組概要

## ○基本方針

- **休日**の部活動を**地域クラブ活動**に移行
- 原則、**平日**の部活動は**当面の間、継続**



学校部活動（**平日**・**休日**）



- 学校の部活動（**平日**）
- 地域の指導者が中心となる地域クラブ活動（**休日**）



# 基本方針と取組概要

## ○基本方針

○活動環境	<ul style="list-style-type: none"><li>・生涯スポーツ・文化芸術活動（生徒の多様な志向等に適したプログラム）</li><li>・競技志向</li></ul> ※活動団体【少年団、道場、楽団等】の運営方針に沿った活動
○指導者	<ul style="list-style-type: none"><li>・活動団体に所属している指導者</li><li>・地域の指導者</li></ul> （兼職兼業による教員を含む）
○活動場所	<ul style="list-style-type: none"><li>・活動団体の拠点となる活動場所（学校施設・公共施設を含む）</li></ul>
○活動費用（謝金、保険料、用具等）	<ul style="list-style-type: none"><li>・受益者負担（困窮家庭への支援を検討）</li></ul>
○活動場所までの移動	<ul style="list-style-type: none"><li>・現地集合、現地解散（保護者送迎、公共交通機関利用等）</li></ul>
○活動の責任の所在	<ul style="list-style-type: none"><li>・活動団体（指導者）</li></ul>
○学校の役割	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の開放</li><li>・生徒が在籍している活動やクラブの把握</li><li>・平日の活動との連携</li></ul>

# 基本方針と取組概要

## ○地域クラブ活動

- 実証事業（国庫補助金を活用）
- 令和4年度から実施していた部活動の合同練習会を地域クラブ活動へ移行



### ひたちなか市バレーボール教室

運営団体	NPO法人sakura
指導者	茨城大学バレーボール部 教職員（兼職兼業）
活動場所	美乃浜学園 体育館
活動回数	土・日のいずれか 月2回
活動費	月 500円
参加者	市内8校（98名）
実施状況	R6.10月より計6回実施 （R6.12月現在）

# 基本方針と取組概要

## ○地域クラブ活動

- 地域の軟式野球クラブと兼職兼業を希望する教職員が連携し運営団体を新設
- 練習会や他市町村のチームとの交流試合を実施予定



ひたちなかベースボールクラブ	
指導者	軟式野球クラブ「NAZARE」 教職員（兼職兼業）
活動場所	市内中学校グラウンド 他
活動回数	土・日のいずれか 全6回
活動費	3,000円
参加者	市内8校（44名）
実施状況	R6.12月に市内で練習会、 市外で交流試合を実施 (R6.12月現在)

# 基本方針と取組概要

## ○地域クラブ活動

- 地域の吹奏楽団が母体となり中学生対象のユースバンドを新設
- 大型の楽器は、市内小学校で使用していない楽器を借用、体育館で保管



### ひたちなかフィルハーモニーウインド オーケストラユース

運営団体	ひたちなかフィルハーモニー ウインドオーケストラ
指導者	ひたちなかフィルハーモニー ウインドオーケストラ団員
活動場所	東石川小学校 体育館
活動回数	土・日のいずれか 月2回
活動費	月 1,500円
参加者	市内4校 (37名)
実施状況	R6.12月に第1回の活動実施 (R6.12月現在)



## 今後の検討事項（案）

### 1 活動環境の整備について

- ・生徒のニーズに合った場をどのように確保していくか

### 2 指導者について

- ・どのような人材が考えられるか
- ・指導者の確保と育成をどのようにしていくか
- ・指導者の質をどのように保障するか
- ・指導者の資格等について

### 3 活動施設について

- ・学校施設に活用するために必要な整備
- ・活動場所をどのように確保するか

### 4 設備・用具の借用、保管、管理について

- ・ボールやバット等の用具の借用をどうするか
- ・楽器の借用や保管場所、維持管理について

### 5 活動費用について

- ・困窮家庭への支援をどのようにするか

### 6 保険について

- ・生徒や指導者が加入する保険として、補償内容や保険料等について、どのようなものがふさわしいか

### 7 児童生徒や保護者、教職員への周知について

- ・効果的な周知方法や時期の在り方

### 8 今後の大会の在り方について

- ・持続可能な大会、コンクール等開催のため、運営体制をどのように整備していくか
- ・地域スポーツ・文化芸術活動の成果発表及び競い合う場として、規模、参加資格、試合形式等について、どのようなものがふさわしいか

### 9 教職員の兼職兼業について

- ・地域指導者として指導を希望する教職員と地域クラブ活動の連携をどのように図るか